

平成26年度 新聞記事等一覧 (3月分)

No.	掲載年月日	媒体名	記事(番組)表題	記事(番組)概要	記事(番組)関係者等	
1	3月1日	日本海新聞	WEB	野生動物とブナ林の共生を考える 鳥取市でシンポ	東京農工大学の梶光一教授が、鳥取県の河合谷高原の森林復元を考える会が開催した「ブナ林シンポジウム 野生動物とブナ林の生態」において、講演を行ったことが紹介。	農学研究院 梶 光一 教授
2	3月2日	日経テクノロジー online	WEB	熊本大学が文部科学大臣表彰を受賞、第4回 サイエンス・インカレ	「第4回サイエンス・インカレ」において、東京農工大学工学部3年の清水俊樹さんが発表した「消しゴムを科学する～文字を消す際の最適条件を求めて～」が、科学技術振興機構理事長賞を受賞したことが紹介。	清水 俊樹(学生)
3	3月2日	日刊工業新聞 (WEB)	WEB	第4回サイエンス・インカレ 文科大臣賞に熊本 大の永芳さん	「第4回サイエンス・インカレ」において、東京農工大学工学部3年の清水俊樹さんが発表した「消しゴムを科学する～文字を消す際の最適条件を求めて～」が、科学技術振興機構理事長賞を受賞したことが紹介。	清水 俊樹(学生)
4	3月3日	eduon!	WEB	第4回サイエンス・インカレの表彰者を公表 文 部科学省	「第4回サイエンス・インカレ」において、東京農工大学工学部3年の清水俊樹さんが発表した「消しゴムを科学する～文字を消す際の最適条件を求めて～」が、科学技術振興機構理事長賞を受賞したことが紹介。	清水 俊樹(学生)
5	3月3日	農業協同組合新聞 JA com	WEB	【特集】JAしまね発足 組合員数全国一のJA 誕生 営資源を集中、県農業の振興へ 萬代宣雄組 合長に抱負を聞く	東京農工大学の梶井功名誉教授が、JAしまねの萬代宣雄組合長氏にインタビューした内容が掲載。	梶井 功 名誉教授
6	3月4日	TBS	TV	NEWS23	東京農工大学のスマートモビリティ研究拠点が提供した映像資料が放映	
7	3月5日	マイナビニュース	WEB	応用物理の語り部の佐藤勝昭氏に業績賞	第15回応用物理学会業績賞(教育業績)の受賞者に、東京農工大学の佐藤勝昭名誉教授が決定したことが紹介。	佐藤 勝昭 名誉教授
8	3月6日	科学新聞	8面	生体分子の挙動 直接観察できるAFM装置開発	東京農工大学の大野弘幸教授、中村福文教授らの研究グループが、電気化学測定を行いながら電極表面の生体分子の動的挙動も同時に観察できる電気化学高速AFM装置を開発したことが紹介。	工学研究院 大野 弘幸 教授 中村 福文 教授
9	3月6日	日刊工業新聞	21面	初期動作ロボ自動再現 東京農工大 搭載カメラで作業撮影 関節角度の設定不要	東京農工大学の水内郁夫准教授と大学院生の市村祥啓さんが、人が遠隔操作で行った動作をロボットが自動で再現する制御技術を開発したことが紹介。	工学研究院 大学院生 水内 郁夫 准教授 市村 祥啓(学生)
10	3月6日	日刊工業新聞 (WEB)	WEB	東京農工大、人が遠隔操作で行った動作を ロボットが自動再現する制御技術を開発	東京農工大学の水内郁夫准教授と大学院生の市村祥啓さんが、人が遠隔操作で行った動作をロボットが自動で再現する制御技術を開発したことが紹介。	工学研究院 大学院生 水内 郁夫 准教授 市村 祥啓(学生)
11	3月9日	農村ニュース	面	26年度新稲作研中間検討会 大規模営農に向け ICTの利活用を検討	平成26年度新稲作研究会第2回中間検討会において、東京農工大学の澁澤栄教授が講演を行ったことが紹介。	農学研究院 澁澤 栄 教授
12	3月9日	農経しんぼう	面	大規模稲作技術を展望 ICTで低コスト化 新稲作研が中間検討会	平成26年度新稲作研究会第2回中間検討会において、東京農工大学の澁澤栄教授が講演を行ったことが紹介。	農学研究院 澁澤 栄 教授
13	3月10日	農機新聞	面	新稲作研究会 ICT活用事例を紹介 第2回中間検討会を開催	平成26年度新稲作研究会第2回中間検討会において、東京農工大学の澁澤栄教授が講演を行ったことが紹介。	農学研究院 澁澤 栄 教授
14	3月10日	中京テレビ	TV	キャッチ!	東京農工大学のスマートモビリティ研究拠点が提供した映像資料が放映	
15	3月13日	科学新聞	1面	海洋機構など 超深海・海溝生命圏発見 マリアナ海溝に独自の微生物生態系	独立行政法人海洋研究開発機構(JAMSTEC)と東京農工大学などからなる研究チームは、マリアナ海溝の超深海水域に、上部部の深海とは異なる独自の微生物生態系が存在すると発表したことが紹介。	農学研究院 木庭 啓介 准教授
16	3月13日	SANPO WEB	WEB	セミナー「金属積層造形3Dプリンター適用とそ の可能性」	12日に開催されたセミナー「金属積層造形3Dプリンター適用とその可能性」において、東京農工大学の笹原弘之教授が講演を行ったことが紹介。	工学研究院 笹原 弘之 教授
17	3月15日	KFB(福島放送)	TV	福島県内ニュース	南相馬市のNPO法人はらまち交流センター主催、東京農工大学の「千賀まちづくり研究所」大学生チームの共催による「ふるさと復興会議」が、14日に同市原町区の大憲生涯学習センターで開かれたことが紹介。	
18	3月16日	SBS(静岡テレビ)	TV	イブアイ静岡	東京農工大学のスマートモビリティ研究拠点が提供した映像資料が放映	
19	3月16日	毎日JP	WEB	東京農工大:12日の化学で出題ミス	東京農工大学が12日に実施した後期日程試験の化学で出題ミスがあり、この問題について、受験者233人全員を正解とすることにした記事が掲載。	
20	3月16日	毎日新聞	28面	東京農工大入試で出題ミス	東京農工大学が12日に実施した後期日程試験の化学で出題ミスがあり、この問題について、受験者233人全員を正解とすることにした記事が掲載。	
21	3月17日	産経ニュース	WEB	「当てはまる語句が存在しない」東京農工大 の後期「化学」で出題ミス 受験者全員を正解 に	東京農工大学が12日に実施した後期日程試験の化学で出題ミスがあり、この問題について、受験者233人全員を正解とすることにした記事が掲載。	
22	3月18日	ELISNET	WEB	実用化が着々と進む金属3Dプリンタの開発動 向と金属製品・金型への活用技術・事例及び今 後の展開	日本技術情報センターが主催するセミナーにおいて、東京農工大学とMUTOHホールディングスが共同開発し今春販売開始される金属3Dプリンターの説明が行われることが紹介。	工学研究院 笹原 弘之 教授
23	3月18日	読売テレビ	TV	かんさい情報ネットten	東京農工大学のスマートモビリティ研究拠点が提供した映像資料が放映	
24	3月19日	あいテレビ	TV	ニュースキャッチアイ	東京農工大学のスマートモビリティ研究拠点が提供した映像資料が放映	
25	3月19日	日刊工業新聞	25面	高強度で超短パルス ファイバーレーザー装置開発 東京農工大	東京農工大学の三沢和彦教授らの研究グループが、高強度と長短パルスを両立させた高速のファイバーレーザー装置を開発したことが紹介。	工学研究院 博士後期課程 三沢 和彦 教授 千葉 雄平(学生)
26	3月19日	日刊工業新聞 (WEB)	WEB	東京農工大、高強度と超短パルスを両立させ た高速ファイバーレーザー装置開発	東京農工大学の三沢和彦教授らの研究グループが、高強度と長短パルスを両立させた高速のファイバーレーザー装置を開発したことが紹介。	工学研究院 博士後期課程 三沢 和彦 教授 千葉 雄平(学生)

27	3月19日	日本農業新聞 e農net	WEB	農村の働く場拡大 農工法見直し焦点 農水省が有識者会議	農村の働く場を増やす方策を検討するための有識者会議「農村における就業機会の拡大に関する検討会」の初会合が開催され、東京農工大学の千賀裕太郎名誉教授が委員長に就任したことが紹介。		千賀 裕太郎 名誉教授
28	3月19日	東京新聞	7面	親子で学ぶ【科学編】 海にたくさん 小さなプラスチック	東京農工大学の高田秀重教授が、5ミリ以下の大きさに砕かれた微細なプラスチックが、多量に東京湾に浮遊しているとの調査結果をまとめたことが紹介。	農学研究院	高田 秀重 教授
29	3月20日	科学新聞	10面	日本農芸化学会 2015年度大会 水産資源由来の機能性物質など	日本農芸化学会の2015年度大会において、東京農工大学の野村義宏教授が「サメの丸ごと利用で震災復興を」というテーマで講演を行うことが紹介。	農学部附属硬蛋白 質利用研究施設	野村 義宏 教授
30	3月20日	EICネット	WEB	東京農工大学大学院・畠山史郎教授に聞く、 PM2.5をはじめとする越境大気汚染の生成過程 と対処方法[1]	東京農工大学の畠山史郎教授が、越境大気汚染の発生や対処方法について解説。	農学研究院	畠山 史郎 教授
31	3月21日	読売テレビ	TV	読売テレビウェークアップ！ ぶらす	東京農工大学のスマートモビリティ研究拠点が提供した映像資料が放映		
32	3月22日	日テレ	TV	所さんの目がテン！	東京農工大学の佐久間淳准教授が開発した計測装置を用いて、食品の柔らかさを計測する様子が放映。	工学研究院	佐久間 淳 准教授
33	3月22日	読売新聞	33面	ロボット「目」で位置認識 農工大開発 全方位カメラ使用	東京農工大学の水内郁夫准教授らの研究グループが、自らの位置をカメラ画像の「視覚」で認識し、目的地まで自力で移動して作業するロボットを開発したことが紹介。	工学研究院 大学院生	水内 郁夫 准教授 市村 祥啓 (学生)
34	3月22日	YOMIURI ONLINE	WEB	ロボット「目」で位置認識	東京農工大学の水内郁夫准教授らの研究グループが、自らの位置をカメラ画像の「視覚」で認識し、目的地まで自力で移動して作業するロボットを開発したことが紹介。	工学研究院 大学院生	水内 郁夫 准教授 市村 祥啓 (学生)
35	3月24日	読売新聞	32面	【私の1冊】 ジャック・モノー「偶然と必然」 研究者としての礎	東京農工大学の松永是学長が、「私の1冊」として、『偶然と必然』（ジャック・モノー著）を紹介。		松永 是 学長
36	3月24日	読売新聞	33面	府中市と農工大 幅広く連携へ	東京農工大学と府中市が、まちづくりや教育、環境問題、防災など幅広い分野で、協働・連携を強化する相互友好協定を結んだことが紹介。		松永 是 学長
37	3月25日	朝日新聞デジタル	WEB	広島柳家ろべえ、故郷福山で定期的に寄席 4月から	東京農工大学卒業生で落語家の柳家ろべえ（児玉泰宏）さんが、故郷の福山で定期的に寄席を開くことが紹介。	工学部	児玉泰宏氏 (卒業生)
38	3月26日	CNET Japan	WEB	農業ICTの本格活用！に規格やルールを標準化- 産学連携コンソーシアムが策定へ	慶応義塾大学環境情報学部のSFC研究所が中心となって進めている「アグリプラットフォームコンソーシアム」に、東京農工大学などの研究者が、学術分野のアドバイザーとして参加することが紹介。		
39	3月27日	タウンニュース	WEB	桂氏が会見で正式表明 4月26日の市長選出馬へ	任期満了に伴う茅ヶ崎市長選挙に、東京農工大学大学院博士後期課程修了の桂秀光氏が出馬することが紹介。	博士後期課程修了	桂 秀光氏 (卒業生)
40	3月27日	QLifePro	WEB	糖尿病治療における膵島分離のための新規酵 素カクテルの開発に成功-東北大	東北大学と東京農工大学の山形洋平教授らの研究グループが、膵島移植に有効な新規膵島分離酵素成分を同定し、膵臓からの膵島細胞回収率を飛躍的に向上させる新規酵素カクテルを開発したことが紹介。	農学研究院	山形 洋平 教授
41	3月28日	EconomicNews	WEB	糖尿病治療が大きく進展 東北大らが膵島分 離の新規酵素カクテルの開発に成功	東北大学と東京農工大学の山形洋平教授らの研究グループが、膵島移植に有効な新規膵島分離酵素成分を同定し、膵臓からの膵島細胞回収率を飛躍的に向上させる新規酵素カクテルを開発したことが紹介。	農学研究院	山形 洋平 教授
42	3月28日	財経新聞	WEB	糖尿病治療が大きく進展 東北大らが膵島分 離の新規酵素カクテルの開発に成功	東北大学と東京農工大学の山形洋平教授らの研究グループが、膵島移植に有効な新規膵島分離酵素成分を同定し、膵臓からの膵島細胞回収率を飛躍的に向上させる新規酵素カクテルを開発したことが紹介。	農学研究院	山形 洋平 教授
43	3月30日	IT mediar ニュース	WEB	農業とITの“言語”を合わせるプラットフォーム 創出へ	慶応義塾大学環境情報学部のSFC研究所が中心となって進めている「アグリプラットフォームコンソーシアム」に、東京農工大学などの研究者が、学術分野のアドバイザーとして参加することが紹介。		
44	3月30日	マイナビニュース	WEB	膵島移植に有用な酵素カクテルを開発	東北大学と東京農工大学の山形洋平教授らの研究グループが、膵島移植に有効な新規膵島分離酵素成分を同定し、膵臓からの膵島細胞回収率を飛躍的に向上させる新規酵素カクテルを開発したことが紹介。	農学研究院	山形 洋平 教授

追加記事等(2月分)

No.	掲載年月日	媒体名		記事(番組)表題	記事(番組)概要	記事(番組)関係者等
1	2月14日	毎日JP	WEB	森林研:文科相の確認怠る 昆虫ウイルスの遺伝子組み換え実験で 茨城	森林総合研究所が実施していた遺伝子組み換えウイルスの研究で、法律が定めた国からの確認を得ていなかったことが、東京農工大学の共同研究者の指摘で発覚したことが掲載。	
2	2月19日	中国新聞	6面	微細プラ 東京湾に多量 東京農工大調査 生態系へ悪影響も	東京農工大学の高田秀重教授が、5ミリ以下の大きさに砕かれた微細なプラスチックが、多量に東京湾に浮遊しているとの調査結果をまとめたことが紹介。	農学研究院 高田 秀重 教授
3	2月19日	東京新聞(夕刊)	9面	東京湾に大量の微細プラスチック 生態系に影響恐れも	東京農工大学の高田秀重教授が、5ミリ以下の大きさに砕かれた微細なプラスチックが、多量に東京湾に浮遊しているとの調査結果をまとめたことが紹介。	農学研究院 高田 秀重 教授
4	2月19日	神戸新聞NEXT	WEB	東京湾に微細プラスチック 食物連鎖で生態系に影響も	東京農工大学の高田秀重教授が、5ミリ以下の大きさに砕かれた微細なプラスチックが、多量に東京湾に浮遊しているとの調査結果をまとめたことが紹介。	農学研究院 高田 秀重 教授
5	2月19日	47NEWS	WEB	東京湾に微細プラスチック 食物連鎖で生態系に影響も	東京農工大学の高田秀重教授が、5ミリ以下の大きさに砕かれた微細なプラスチックが、多量に東京湾に浮遊しているとの調査結果をまとめたことが紹介。	農学研究院 高田 秀重 教授
6	2月19日	中日新聞(夕刊)	面	微細プラスチック大量浮遊 東京湾 生態系影響も	東京農工大学の高田秀重教授が、5ミリ以下の大きさに砕かれた微細なプラスチックが、多量に東京湾に浮遊しているとの調査結果をまとめたことが紹介。	農学研究院 高田 秀重 教授
7	2月19日	京都新聞(夕刊)	面	プラスチックごみ 大量の微細破片 東京湾に 生態系に悪影響も	東京農工大学の高田秀重教授が、5ミリ以下の大きさに砕かれた微細なプラスチックが、多量に東京湾に浮遊しているとの調査結果をまとめたことが紹介。	農学研究院 高田 秀重 教授
8	2月20日	熊本日日新聞(夕刊)	面	東京湾に微細プラ 生態系への影響 懸念 東京農工大調査 紫外線、波で砕かれ	東京農工大学の高田秀重教授が、5ミリ以下の大きさに砕かれた微細なプラスチックが、多量に東京湾に浮遊しているとの調査結果をまとめたことが紹介。	農学研究院 高田 秀重 教授
9	2月19日	琉球新報 (WEB)	WEB	東京湾に微細プラスチック 食物連鎖で生態系に影響も	東京農工大学の高田秀重教授が、5ミリ以下の大きさに砕かれた微細なプラスチックが、多量に東京湾に浮遊しているとの調査結果をまとめたことが紹介。	農学研究院 高田 秀重 教授
10	2月20日	秋田さきがけ	6面	微細プラスチック 東京湾に大量浮遊 東京農工大調査 生態系へ悪影響懸念	東京農工大学の高田秀重教授が、5ミリ以下の大きさに砕かれた微細なプラスチックが、多量に東京湾に浮遊しているとの調査結果をまとめたことが紹介。	農学研究院 高田 秀重 教授
11	2月20日	四国新聞	面	東京湾に微細プラスチック 東京農工大学教授が調査 食物連鎖で生態系に影響も	東京農工大学の高田秀重教授が、5ミリ以下の大きさに砕かれた微細なプラスチックが、多量に東京湾に浮遊しているとの調査結果をまとめたことが紹介。	農学研究院 高田 秀重 教授
12	2月24日	琉球新報 (WEB)	WEB	超深海に独自の生態系 マリアナ海溝の微生物	独立行政法人海洋研究開発機構(JAMSTEC)と東京農工大学などからなる研究チームは、マリアナ海溝の超深海水塊に、上層部の深海とは異なる独自の微生物生態系が存在すると発表したことが紹介。	農学研究院 木庭 啓介 准教授
13	2月24日	BIGLOBEニュース	WEB	マリアナ海溝の超深海水塊に独自の微生物生態系を発見 海洋研究開発機構、東工大ら	独立行政法人海洋研究開発機構(JAMSTEC)と東京農工大学などからなる研究チームは、マリアナ海溝の超深海水塊に、上層部の深海とは異なる独自の微生物生態系が存在すると発表したことが紹介。	農学研究院 木庭 啓介 准教授
14	2月25日	THE HUFFINGTON POST	WEB	マリアナの超深海に独自の微生物生態系	独立行政法人海洋研究開発機構(JAMSTEC)と東京農工大学などからなる研究チームは、マリアナ海溝の超深海水塊に、上層部の深海とは異なる独自の微生物生態系が存在すると発表したことが紹介。	農学研究院 木庭 啓介 准教授
15	2月26日	化学工業日報	WEB	“生分解”の大切さ	東京農工大学の高田秀重教授が、5ミリ以下の大きさに砕かれた微細なプラスチックが、多量に東京湾に浮遊しているとの調査結果をまとめたことが紹介。	農学研究院 高田 秀重 教授
16	2月27日	東京新聞	25面	【気になる?行ってみたい 社食・学食ランチ】 東京農工大学 小金井キャンパス(バランスランチ) 長居すること濃厚	「気になる?行ってみたい社食・学食ランチ」として、東京農工大学小金井キャンパスのエリブス食堂が紹介。	エリブス食堂
17	2月27日	東京新聞	WEB	気になる?行ってみたい 社食・学食ランチ 東京農工大小金井キャンパス(バランスランチ)	「気になる?行ってみたい社食・学食ランチ」として、東京農工大学小金井キャンパスのエリブス食堂が紹介。	エリブス食堂
18	2月27日	タウンニュース	WEB	3氏による争いか	任期満了に伴う茅ヶ崎市長選挙に、東京農工大学院博士後期課程修了の桂秀光氏が出馬することが紹介。	博士後期課程修了 桂 秀光氏(卒業生)